

「多職種連携による災害対応を考える研修会 ～被災者の命と健康を守るために～」 の開催について

大規模災害時の避難生活等において、被災者の心身の負担による災害関連死や生活不活発病等を防ぐためには、災害や防災に関する行政や保健・医療等の多様な職種の関係者が連携し、包括的な被災者支援を行っていくことが求められます。

こうした多職種連携による被災者支援の円滑かつ効果的な実施に向けて、管内の関係者を対象とした標記研修会を開催しますので、当日の取材について御協力をお願いします。

【研修会の概要】

1 日 時 令和7年9月26日（金）午後1時30分から午後4時15分まで

2 場 所 三川町子育て交流施設テオトル 多目的ホール
（三川町大字押切新田字桜木8-1）

3 内 容

（1）県の取組みについて（13:35～13:45）

「大規模災害時の保健医療福祉活動の円滑な実施に向けた庄内保健所の体制構築について」

庄内保健所長 森 福治

「山形県の防災啓発と減災のための取組みについて」

庄内総合支庁総務課防災安全室 防災安全主査 堀 昌史

（2）事例発表（13:45～14:00）

「保健師からみた被災者支援における多職種連携の必要性
～令和6年7月大雨災害を経験して～」

酒田市八幡総合支所健康福祉係 主査 佐藤 野歩子 氏

（3）講演（14:00～15:00）

「そもそも災害医療とは
～多職種で災害から命と健康を守るために知っておきたいこと～」

講師 新潟大学大学院 医歯学総合研究科 特任教授 高橋 昌 氏

（4）グループワークとまとめ（15:10～16:10）

「災害関連健康被害」をテーマに、多職種のグループで予防対策を検討し、結果を発表

4 対象者 管内の保健師、管理栄養士・栄養士、食生活改善推進協議会リーダー、管内市・町防災担当、防災士、酒田海上保安部、管内消防本部、管内警察署、ほか 約100名

5 主 催 庄内地域地震・津波等災害対策連絡協議会（事務局：庄内総合支庁総務課）、山形県庄内保健所



担当：総務課防災安全室
室長補佐 池田 誠司
電話：0235-66-4791
担当：保健企画課
地域保健主幹 渡會 洋子
電話：0235-66-5652